

ネットワークアンケート ④

糖尿病ネットワークを通して

医療スタッフに聞きました

Q. 糖尿病患者さんの治療費(自己負担額)について、どのような印象をお持ちですか？

治療が長期にわたる慢性疾患の代表とも言える糖尿病。患者さんが生涯で支払う治療費は、治療内容によって差はあるものの、膨大な額に上がることが少なくないと考えられます。その負担を患者さんはどのように感じているのでしょうか。今回のアンケートでは、治療費の負担感や「生活習慣病指導管理料」の算定について聞いてみました。

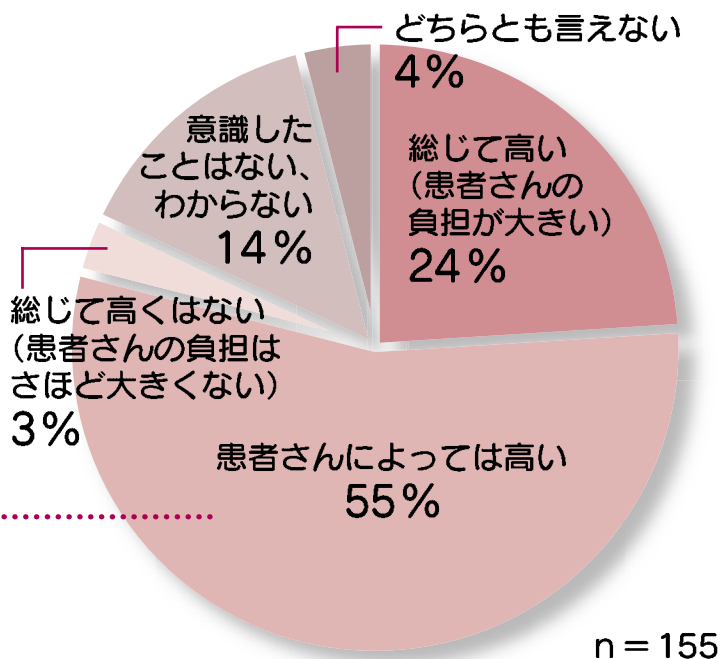
[回答数：医療スタッフ163(医師40、看護師40、薬剤師20、管理栄養士・栄養士20、その他43。うち糖尿病療養指導士32)、患者さんやその家族600(食事療法を行っている389、運動療法を行っている305、経口薬を服用している254、インスリン療法を行っている347。重複回答)]

Q. 特にどのような患者さんの治療費負担が大きいと思いますか？(複数回答)

1型糖尿病の患者さん	62%
合併症がある患者さん	71%
インスリン治療をしている患者さん	65%
高血圧の薬も処方されている患者さん	19%
その他	10%

医療スタッフの4分の1は「糖尿病患者さんの治療費負担が大きい」と感じていて、2分の1強が「患者さんによっては負担が大きい」と感じています。二者の合計で約4分の3に及びますが、これは、患者さんへのアンケートで得られた「負担が大きい」と答えた人の割合とだいたい一致します。特に、合併症があったりインスリン治療をしている患者さんや1型糖尿病の患者さんの治療費負担を心配するスタッフが少なくないようです。

近年、合併症の発症・進展防止のために血圧管理が重視され、臓器保護作用をうたった新しいタイプの降圧薬の使用頻度が増えています。それらは高価なものも少なくありませんが、降圧薬の薬剤費自己負担を「大きい」とする回答は5分の1で、今のところ大きな支障としてはとらえられていないようです。



Q. 患者さんや家族から治療費について説明を求められたり、相談されたことはありますか？

しばしばある	8%
たまにある	50%
めったにない	42%

n = 159

Q. 患者さんや家族からはどのような質問をよく受けますか？(複数回答)

治療費の明細を聞かれた	28%
治療費が高いと言われた	51%
投与中の薬の中止を求められた	15%
安価な薬への変更を求められた	19%
その他	26%

n = 134

記述回答には、「指導料の内容についてよく尋ねられる」「インスリン導入時に治療費がどのくらい変わるか聞かれる」「在宅自己注射指導管理料の質問が多い」などが複数ありました。患者さんがジェネリック薬への変更を希望するものも珍しいことではないようです。

Q. 糖尿病治療で生活習慣病指導管理料は算定していますか？

算定している	12件
月により算定している	7件
算定していたがやめた	1件
算定していない	29件
わからない	4件

n = 53

Q. 管理料を算定することを説明したときの患者さんの反応は？

快諾してくれることが多い	4件
快諾ではないが納得してくれることが多い	1件
拒否されることが多い	3件
よく理解してもらえないことが多い	2件
その他	3件

n = 26

記述回答例：検査や投薬、栄養指導を含んだ金額なので大変喜ばれる / 「十分指導してくれるなら」と言われた / 患者さんは気付いてないと思う / 管理料をとらなくても気軽に相談に乗りたい